

# News Release



## BASF ジャパン、顧客産業に特化した組織の再編を実施

2010年8月31日

- 建設、自動車、包装材、医薬品、塗料・コーティングの業界をターゲットとし、対顧客サービスを強化
- アジア太平洋地域における売上高を2020年までに倍増させるBASFの目標達成に向け前進

お問い合わせ：  
BASF ジャパン株式会社  
クロス 雅子  
TEL: 03-3796-4864  
FAX: 03-3796-4111  
masako.cross@basf.com

BASF ジャパン株式会社(本社:東京都港区、代表:成尾友良)は、9月1日付けで主要顧客が属する業界を主軸とした組織再編を実施します。目的は、従来以上に優れたサービスと、世界をリードする化学会社、BASF が持つ幅広いイノベーションを顧客に提供することです。

BASF ジャパンは、化学品やプラスチック製品、機能性化学品から高機能製品、農業関連製品に至るまで、多岐にわたるセグメントで事業を展開しています。今回、これらを3つのビジネスユニットに再編します。各ビジネスユニットをそれぞれ一人の代表が統括することにより、業界および部門間の連携を強化します。

BASF ジャパンの代表取締役社長、成尾友良は次のように述べています。「BASF ではアジア太平洋地域における成長戦略、『アジア・パシフィック・ストラテジー2020』を策定しました。この戦略は、各顧客企業や業界をターゲットとすることにより、顧客各社が一つの窓口で幅広い BASF ソリューションを利用できるようにすることを目的としています。幅広いニーズを持つ顧客企業にとっては、窓口の一括化により手続きがシンプルになるというメリットがあります」。

BASF ジャパン株式会社  
コーポレート・コミュニケーションズ  
住所: 〒106-6121  
東京都区六本木 6-10-1  
六本木ヒルズ森タワー21階  
TEL: 03-3796-4864  
FAX: 03-3796-4111  
<http://www.japan.basf.com>

BASF は 2009 年に、アジア太平洋地域の営業業務を主要な顧客の産業別に行うことを発表しました。ターゲットとする産業は、自動車、建設、包装材、医薬品、塗料・コーティングです。「アジア・パシフィック・ストラテジー2020」では、市場の成長率を年平均で 2%上回る成長をめざすとともに 2009 年から 2020 年の間で売上高を倍増させることを目標に掲げています。

BASF ジャパンでは、「ワンカントリー・ワンカンパニー」というポリシーのもと、総合力と効率を高める各種の施策を実施しています。昨年 9 月には BASF アグロを、今年 1 月にはチバ・ジャパンの各部門を統合すると同時に、日本国内数カ所で展開していた BASF の系列企業 5 社を、六本木ヒルズ本社へ統合・移転するなど、組織の完全一体化を図ってきました。

### BASF ジャパン新組織

新設組織	所轄事業
ビジネスクラスター I (プラスチック・コンストラクション)ユニット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ パフォーマンスポリマー</li> <li>・ ポリウレタン</li> <li>・ 建設化学品(BASFポゾリス(株))</li> </ul>
ビジネスクラスター II (化学品・農薬)ユニット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中間体</li> <li>・ 無機化学品</li> <li>・ 石油化学品</li> <li>・ 触媒</li> <li>・ クロッププロテクション</li> </ul>
ビジネスクラスター III (高機能製品)ユニット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ケア・ケミカルズ</li> <li>・ ディスパーション &amp; 顔料</li> <li>・ 高機能化学品</li> <li>・ 製紙薬品</li> </ul>

BASF ジャパン株式会社  
 コーポレート・コミュニケーションズ  
 住所: 〒106-6121  
 東京都区六本木 6-10-1  
 六本木ヒルズ森タワー21階  
 TEL: 03-3796-4864  
 FAX: 03-3796-4111  
<http://www.japan.basf.com>

## BASF について

BASF(ビーエーエスエフ)は、「ザ・ケミカル・カンパニー(The Chemical Company)」を標榜する世界の化学業界のリーディングカンパニーです。製品ラインは、化学品、プラスチック製品、高機能製品、農業関連製品、ファインケミカル製品、石油・ガスと多岐にわたっています。BASF は信頼に応えるパートナー企業として、化学を通じあらゆる産業のお客様のさらなる成功を支援しています。また、高付加価値製品と高度なソリューションの提供により、気候保全やエネルギー効率の向上、栄養、交通・運搬環境の改善といった世界的な課題の解決に重要な役割を果たしています。2009 年の売上は 500 億ユーロを上回り、従業員数は約 10 万 5,000 人です。BASF の詳しい情報は、[www.basf.com](http://www.basf.com) (英語)、[www.japan.basf.com](http://www.japan.basf.com) (日本語)をご覧ください。

## 日本の BASF について

BASF は日本では 1888 年に事業を開始いたしました。国内では、BASF ジャパン(本社: 東京都港区)と 6 社の関連会社で構成されています。事業活動は、化学品、プラスチック、機能性化学品、高機能製品、農業関連製品の 5 分野です。主要生産拠点は三重県四日市市(熱可塑性ポリウレタン、ポリマーディスパージョン)と、神奈川県茅ヶ崎市(コンクリート混和材、建設化学品)と横浜市戸塚区(塗料)です。「グレーター名古屋テクニカルセンター」(三重県四日市市)内には、製紙薬品、顔料、機能性ポリマー(ディスパージョン)、エンジニアリングプラスチック、および燃料電池向けの応用研究所があり、日本とアジア市場のお客様をサポートしています。尼崎研究開発センターでは、日本のお客様へのテクニカルサービスと、さらに先端技術産業のテクノロジーリーダーに近いという地理的利点を活かし、エレクトロニクス分野に特化した研究開発を行っています。特に「ディスプレイ」、「エナジーマネージメント」、「マイクロエレクトロニクス」の分野にフォーカスし、日本発のイノベーティブで、グローバルな製品の開発を目指しています。2009 年の BASF の日本での売上は 1,570 億円(12 億ユーロ)、従業員数は 1,600 人です。BASF ジャパンのホームページアドレスは、[www.japan.basf.com](http://www.japan.basf.com) です。

BASF ジャパン株式会社  
コーポレート・コミュニケーションズ  
住所: 〒106-6121  
東京都港区六本木 6-10-1  
六本木ヒルズ森タワー21 階  
TEL: 03-3796-4864  
FAX: 03-3796-4111  
<http://www.japan.basf.com>